

第1回 学校運営協議会 議事録

日時:令和7年4月21日(月) 14:00~16:10

場所:遠江総合高校 会議室

- 1 校長挨拶
前任校での地域連携の経験を活かし、地域や企業と協力して教育活動を進めていきたいとの挨拶があった。
- 2 委員委嘱
校長より、今年度の学校運営協議会委員に対して委嘱状が手渡された。
- 3 委員・教職員の紹介
各委員から、地域での活動やこれまでの学校との関わりについて紹介があり、学校への期待や連携への意欲が示された。
- 4 授業見学
協議会前に、校内や授業の様子を見学した。
- 5 会長・副会長の選出
委員による互選により、会長および副会長が選出された。
- 6 学校からの報告・説明
 - (1) 学校経営計画の説明
学校ミッションとして「社会で困らずに生き抜く人材」の育成を掲げ、挨拶をはじめとする基本的な人間関係力を重視。探究活動「遠高プロジェクト」や、系列・教育課程の見直し、地域との連携を通じた特色ある教育の実現を目指す。
 - (2) 教務課より
系列を7から5に再編し、教科横断型の探究活動を強化。スタディサプリを活用した自学支援も開始され、Chromebookによる学習環境の充実が図られている。
 - (3) 生徒課より
重点項目として「基本的生活習慣」「命を尊ぶ心」の育成を掲げ、「命のパネル展」な

どの教育活動を実施予定。地域との信頼回復に向けた取り組みや、文化祭でのキッチンカー導入も計画されている。

(4) 副校長より近況報告

新学期の各行事（入学式、対面式、教育相談等）の実施状況や、生徒のスムーズな学校生活への移行支援について説明があった。

(5) 教頭より部活動の現状報告

運動部 11・文化部 10 が活動中。クラス減による教員数の減少を踏まえ、今後の部活動運営について検討していく。

7 意見交換

委員 A	教科横断的な活動には地域内の連携も含まれるのかとの問いに対し、学校からは、生徒の発想を起点とし、地域資源や専門教員の力を活かした探究活動を構想中であるとの説明があった。 また、探究活動を通じて学校の個性や他校との差別化につながることへの期待、生徒指導面での改善と保護者・生徒との信頼関係づくりへの評価が述べられた。校舎や授業風景、挨拶の様子からも生徒の落ち着いた姿勢が伝わり、地域として今後も学校との連携を大切にしていきたいとの意見があった。
教員 B	他校の事例や本校の過去の活動に触れつつ、生徒の構想を実現可能な形にする環境が整っていることを説明。地域との協働によって特色ある探究活動を展開していく方針が示された。
委員 C	町内で運営するシェアスペースを例に、地域側から活動の場を提供することの意義を共有。中学生との協働事例を踏まえ、高校生との連携にも前向きな姿勢を表明した。
委員 D	探究活動を軌道に乗せるには教員の関わり方が重要であり、地域の知恵を活かした協働が学校の特色を育てると述べた。記録の蓄積や失敗も含めた取組の価値にも言及した。また、系列再編による教育内容の変化について懸念を示したが、学校からは選択科目や横断的な学びで補う体制が説明された。さらに、「いのちのパネル展」は高校生にとって意義深く、本校ならではの継続すべき取り組みであると評価した。
委員 E	校舎や授業風景、挨拶の様子から生徒の落ち着いた姿勢を高く評価し、今後も地域として学校と協力していきたいとの意向が示された。
委員 F	在校生の保護者として、進路が未定な中でも学校生活を通じて徐々に方向性が見えてきていることを実感。多様な学びが生徒の選択の幅を広げていると述べた。
委員 G	卒業生やその保護者との関わりから、生徒が社会に出た後の成長を実感しており、本校の教育が人間力の育成につながっていることを評価した。町としても地域課題と連動した人材育成に協力していきたいとの意向が示された。

8 今後の予定

本年度の学校運営協議会は全 4 回の開催を予定。次回は 6 月 6 日（文化祭校内発表の参観）、以降は 10 月 31 日、2 月 12 日に実施予定。今後の連絡はメールを基本とし、希望者には文書郵送で対応する。